

団体名		社会福祉法人 武蔵野				
事業	① 指標名	放課後等デイサービス（パレット）事業の推進			目標値	事業の安定的な運営
	過去の実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：）		-	12月開設	新規利用者の増員	昨年度はじめて1年を通じての運営となり、事業を軌道に乗せることができた。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目					
	設定理由等	令和2年12月に始まった新規事業であり、また医療的課題を抱える児童の利用数や、利用児童の身体状況など、予測の難しい事業である。また今後安定的に運営していくための専門職の配置や送迎範囲等、事業の実施方法について、継続して見直しを行っていく必要がある。				
	取組内容	市から委託された指定管理事業であるが、利用児童の年齢（6歳から18歳）や児童の状態像、通う学校のエリアにも幅があり、サービス提供時間、活動内容、送迎時間、看護師や専門職の配置など、柔軟な対応が求められる。民間で受入れが難しいケースについて受入れる役割が求められており、安全でかつ法人として安定した運営を行うため、市とも連携しながら進めていく必要がある。開設以来コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用登録するも、実際の利用日数が少なく、それに伴い収入が減収となる制度設計のため、安定した収入の確保と支出の抑制が大きな課題である。令和4年度は夏休み等長期休暇のみの利用児童の新規受け入れにより、報酬を増やし、事業の安定的な運営を目指す。				
	② 指標名	法人全体会計の収支差額の拡大			目標値	40,000,000円
	過去の実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：）		26,316,543	29,092,452	2,738,324	コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、目標達成に至らなかった。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目					(1) 経営健全性の確保
財務	設定理由等	市からの建設補助終了後の借入れ返済のための貯蓄、経年劣化していく法人所有施設の修繕・改修に向けた積立等のため、一層の収益性拡大と経費の削減を行う必要がある。また、コロナ禍の経済状況の低迷は、まだ継続すると考えられ、法人として一定の資金が必要であり、収支の改善は必須で継続した課題である。				
	取組内容	第五期中期基本計画に沿った取組みを継続していく。 ・事業活動収入の大幅な増加が見込めない中で、事業の精査と業務の見直しを行う。 ・ICT導入等による事務の更なる効率化を目指す。 ・ミライズ基金の周知と活用 ・職員給与・手当の見直しの検討を継続 ・中長期財政計画・施設修繕更新計画の作成				
	③ 指標名	人材の計画的な採用と育成、休暇制度等職場環境の改善			目標値	第五期中期基本計画に掲げる重点課題の計画期間内での実施
	過去の実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	（過去の実績についての説明）
	（単位：）		検討	検討	休暇制度の見直し	正規職員と非常勤職員の休暇制度等に差があったが、職場環境改善を目的に、見直しを行った。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目					(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進
	設定理由等	財政援助出資団体である法人としては市との均衡を取ることは重要であると考え、離職率を低く抑え、様々な資格を持つ職員の採用や多様な勤務体制の職員を雇用するには、職員のやる気を高める人事・給与制度及び快適な職場環境が求められる。また施設長候補の育成が課題となっており、計画的な研修の実施による人材育成が必要である。				
	取組内容	第五期中期基本計画に沿った取組みを継続する。 ・人材の採用計画の作成 ・超過勤務縮減への工夫の検討 ・研修制度の体系化と計画的な実施 ・働き方改革に向けた、給与・手当・待遇の検討				
	④ 指標名				目標値	
	⑤ 指標名				目標値	